

あつかし 荘だより

2006.9

まごころ・ふれあい・思いやり

あつかし荘は、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

あつかし荘は、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

リレー エッセイ



高橋 睦子
主任介護士

家庭的な雰囲気大切に

介護保険導入以来、福祉の現場も様変わりしました。あつかし荘でもグループケアを取り入れ、利用者の皆様がより快適に生活できるようサービス向上に努めております。あつかし荘は定員50名と決して大きな施設ではありませんが、今後も職員間のチームワークの良さと家庭的な雰囲気、あたたかさを大切にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

■これからのおもな行事予定

- | | |
|-------|-------------------|
| 9月17日 | 利用者家族懇談会
敬老会 |
| 21日 | 物故者供養 |
| 10月2日 | ホーム内喫茶 |
| 5日 | 芋煮会
テーブルバイキング |
| 12日 | 阿津賀志食堂
お楽しみツアー |
| 24日 | 職員研修 |
| 27日 | 鹿島神社祭礼 |
| 30日 | 消防訓練(総合訓練) |
| 11月6日 | ホーム内喫茶 |
| 9日 | もみじ狩り |
| 16日 | お楽しみツアー
阿津賀志食堂 |
| 22日 | テーブルバイキング |
| 30日 | グループレクリエーション |



にぎやかに第3回夏祭り 「よさこい」が花を添える

ご来場いただきました皆さん、ありがとうございました

8月27日(日)、あつかし荘夏祭りが行われました。小野園長のあいさつのあと、初出演の国見よさこいの子どもたちの元気な演舞からステージプログラムが始まりました。そのあと藤田婦人会の舞踊、藤田本町若連による太鼓演奏と続き、利用者、来園者の皆さんからは大きな拍手をいただきました。

プログラム合間ののど自慢では、利用者ご家族や、婦人会の方が、ご自慢の歌声を披露してくださいました。

また、職員出しものは、オリジナル「あつかしの風景」を歌いました。この歌は、職員から歌詞を募り、曲をつけたあつかし荘のテーマソングです。



屋台メニューは、あつかし菜園で採れた枝豆を含め、十種類を用意し、皆さんにご満足いただけたことと思います。また、恒例の抽選会では、血圧計や折りたたみ自転車等、目玉商品が次々と当たり、皆さん興奮された様子です。

フィナーレは、たくさんの方々と夢音頭と盆踊り、そして最後にあつかし荘の様子をスライドで振り返りました。今回は、200人を超える方々に来園いただき、皆様に厚く御礼申し上げます。なお、初めてのバザーの売上金19,610円は「愛は地球を救う24時間テレビに」寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。



安心の生活を送っていただくために サービス向上

あつかし荘の取り組み②サービス向上委員会

介護保険制度が始まり、約6年の年月が経ちました。施設サービスの質が求められている今、あつかし荘でもサービスの質を高めるべくさまざまな取り組みを行っています。

●ともに喜び、感情を共有

施設でのサービスとは、利用者の方々がゆとりのある安心した生活を送ることができ、少しでも喜んでいただける充実した内容を提供することです。また、私たちが利用者の方々の精神的な支えとなり、ともに喜び悲しみ、感情を共有できるような施設にしなければなりません。



●施設周辺環境整備から

サービス向上委員会では、今年度は

まず、施設環境を整えようということで、施設周辺の環境整備を進めています。6月には桑折町睦合地区の中学生ならびに父母の皆さんのお手伝いを得て、ひまわりやあさがお、コスモスを施設周辺に植えました。お年寄りやご家族のみなさんが心を和ませていただければと思っております。また、施設裏にある



「あつかし菜園」で、枝豆を初めてつくりました（写真）。なかなか

うまく育たず苦労しましたが、夏祭りではビールと一緒に召し上がっていただくことができました。さらに、玄関前には花を植えたプランターを準備し、玄関を明るくすることで、家族の方々により気持ちよく来園していただければ幸いです。



①グループケア改善委員会

②サービス向上委員会

③排泄ケア委員会

④リスクマネジメント委員会

あつかし荘の委員会ケアの取り組みを順にご紹介いたします。2回目はサービス向上改善委員会です。

●勉強会の成果をつなげる

環境だけではなく、昨年度は月に1回の勉強会を開き、全職員が介護、医



療それぞれの分野で、サービスの質を高めるべく勉強してきました。今、その成果を毎日生活されている利用者の方々への質の高いサービス提供につなげていきたいと考えております。

●利用者の声に耳を傾けて

今後、委員会では、今まで以上に利用者の方々の声に耳を傾け、利用者の方々が希望されるサービスを提供できるよう、全職員で協力し、施設サービスの向上に頑張っていきたいと思えます。サービスに関してご不明の点やお気づきの点がございましたら、どんなことでもお話いただければ幸いです。

(介護士・佐藤進也)

あつかし荘●ケア情報 plus

ソフト食導入に当たって

あつかし荘では、常食、きざみ食、超きざみ食、ミキサー食という形態で食事を提供しておりますが、現在、常食よりも、きざみ食・超きざみ食を召し上がっている方が多く、中には嚥下、咀嚼機能の低下がみられる方もおり、食事形態見直しの準備を行なっているところです。

検討を進めているのは「ソフト食」というもので、それが安全で美味しい理由は次の通りです。①舌で押しつぶせる程度の硬さで見た目がおいしそうであり、みんな同じメニューを食べられる、②すでに食塊となっているような形であるので食欲がわく、③のど越し

がよく移送しやすい。

つまり、ソフト食は、きざみ食・超きざみ食のようにバラバラにきざんでしまうのではなく、形があり、飲み込みやすく、かみやすくかつ体の五感を刺激できるものです。したがって、あつかし荘でもソフト食の導入をすすめていきたいと考えており、随時試食会などを行い意見を求め、研究をしています。(栄養士・上田)



ソフト食2



ソフト食3

排泄の自立に向けて

あつかし荘では、「オムツはずし」を積極的に行なっております。オムツに排泄すると違和感や不快感を感じます。また、皮膚状態を悪化させ、ただれ、褥瘡の原因にもなります。

そのような原因の一つでもなくそうとオムツを使用している方に対して、生活リハビリ訓練を行い、下肢筋力をアップさせ、排泄をトイレで行なえるようにしました。

お年寄りはさまざまな問題をかかえています。社会的、衛生的問題から解放され、その人らしく生き生きと生活できるように今後も取り組んでいきたいと思えます。(高橋)

あつかし かわらばん

ホットケーキづくりに挑戦 6月のお楽しみ会

6月15日のお楽しみ会は、グループごとにホットケーキ作りが行なわれました。ホットプレートを囲んでアツアツのケーキをほおぼり楽しく過ごしました。



全国縦断1000日ライブ中 高橋忠史さん来園



7月10日、全国縦断1000日ライブを続けている、大阪出身のシンガーソングライター高橋忠史さんがあつかし荘を訪れました。「しゃぼん玉」や「上を向いて歩こう」などの名曲に加え、オリジナルの「勝坂賛歌」「すみれ」を披露してくださり、利用者のみなさんはじめ当日おそうじボランティアに来てくださった国見町商工会の皆さんと楽しいひとときを過ごしました。(写真上)

なお、国見町商工会婦人部の皆さんには、施設外側の窓ガラス等を清掃していただきました。ありがとうございました。(写真下)



JAさんから特産桃寄贈 ありがとうございました

8月7日、JA伊達みらい様から今年も農薬を使わない甘い桃をたくさんいただきました。利用者の代表が受け取り御礼のことばを述べました。贈呈には佐藤代表理事専務、実沢所長が来園されました。ありがとうございました。



夜間消防訓練実施 万々に備えて真剣に

9月1日、夜間消防訓練を行ないました。防災の日にあわせて毎年行なっているもので、連絡網を通じて職員を非常召集、地元消防団50余名の協力も得ての本格的な訓練となりました。訓練は夜間、厨房より出火の想定で、照明を落とし暗がりでの避難・救助訓練を行ないました。また、屋内消火栓の操作、担架による搬送訓練なども行ないました。火災のないよう職員一同努力してまいります。ご協力いただきました桑折町役場並びに町消防団の皆様、ありがとうございました。



間もなく完成 あつかし公園に東屋

9月3日、施設裏側の公園で東屋の上棟が行なわれました。国見木工所・阿部さんから同級生の方々の古希を記念してのボランティア活動です。完成が楽しみです。



今月のポイント介護

食事摂取

食事摂取には、次の6つの流れがあります。①食事の姿勢を保つ、②目で確かめる、③食器やはし・スプーンを持つ、④食物を口に運ぶ、⑤咀嚼する、⑥嚥下する、このうちのひとつでも独力でできない時には介護が必要になります。

食事の介護は個人差がありますが、食事だけでなく、食事の前後も含めて、食事の事故を防ぎ、安全においしく食べていただけるように配慮しましょう。また、必要な摂取量を無理なく食べてもらえるように留意することも大切です。

片麻痺の人の食事

食事は単に栄養補給の意味だけではなく、日常生活の大きな楽しみの一つです。片麻痺があって、食器がもてない方には、その状況に応じて援助していきます。例えば、はしをスプーンに替えれば利き手でなくても食べられますし、米飯も小さなおにぎりにすることによって、自分で食べることができます。

苦情解決委員会開催 適切な対応めざします

6月16日、信達福祉会第1回苦情解決委員会が開かれました。委員会には顧問弁護士千葉和彦先生はじめ第三者委員、法人・三施設職員ら約30人が出席しました。委員会では17年度の苦情や事故発生状況が報告され、その後、新リスクマネジメント体制について説明がありました。



千葉先生からは「人権擁護」についての講話をいただき、「危機の発生は現場からであり、防止できるのも現場から。職員が限界を超えて無理や我慢をする、いわゆる善意の気持ちも、利用者の不利益につながることもある。個人の問題にとどめず、上司や組織に解決を委ねることが大切」とのご指摘をいただきました。

あつかし掲示板

■ありがとうございます！

●学生さん等の実習

福島東稜高等学校看護専攻科、ニチイ学館、教員免許取得のための「介護等の体験」実習

●ボランティアさん

【国見町】国見町婦人会、国見町商工会婦人部、ニューモラルクラブ、トライアングルクラブ、磐青の会、退公連伊達支部女性部、早田捷、岩野和子、相原ミツエ、大槻トリ、穴戸一馬、福島介護専門学校（夏祭り8名）、福島北高等学校（夏祭り4名）

【桑折町】桑折町婦人会

●草刈り・剪定作業

7月3日、ニューモラルクラブ20名の皆さんが施設の草刈を、また23日にはトライアングルクラブ10名の皆さんが、植木の剪定などを行なってくださいました。

●夏祭り協力

公立藤田総合病院、国見町親月台文化センター、桑折町中央公民館、伊達市梁川中央公民館、曙ブレーキ、元祖ラーメンショップ、ビジョントヒラ、ハッピーケア、あかね福祉、メフォス、つくだや酒店、梁川ホーム（以上、平成18年8月31日まで、敬称略・順不同）

■「介護サービス情報の公表」について

今年度より介護サービス事業所を対象にした「介護サービス情報の公表」が行われることになりました。情報を公表することで利用者が当該情報を活用しながら自らの責任において主体的に事業所を選択するための環境整備が趣旨、目的です。

あつかし荘では、より利用者皆様への介護サービスの向上を目指していきたいと考えております。（菊池）

Interview part1



新村寿枝 さん(21歳)
介護士

広報班では、あつかし荘の若手職員をインタビュー形式でご紹介いたします。第1回は介護士の新村寿枝さんです。

一血液型は何ですか？

B型です。

一趣味は何かありますか？

スポーツ観戦です。主にバレーボールをテレビで見えています。

一休みの日は何してますか？

テレビを見て、家にいることが多いです。一好きな食べ物は何かですか？

納豆です。

一好きなマンガは？

スラムダンク

一好きなタレントはいますか？

赤西 仁です。（カッコイイ！！）

一好きな男性のタイプは？

性格が合う人

一福祉の学校（福島介護福祉専門学校）を選んだのはなぜですか？

人に接する仕事をしたかったからです。

一この仕事をやって良かったこと、うれしかったことは？

お年寄りの笑顔が見れる時です。

一寿枝（としえ）っていう名前は誰がつけたんですか？

神社の人にいくつか名前を考えてもらい、その中から親が選んだそうです。

一いろいろ聞かせてもらってありがとうございました。これからがんばってください。（聞き手）高橋

苦情相談 受け付けます

あなたやあなたのご家族などが、現在ご利用されている当事業所の福祉サービスについて苦情相談等がありましたら、ご遠慮なく「苦情受付担当者」もしくは「第三者委員」にお申し付けください。

【苦情受付担当者】

処遇部長 嶋原 誠

生活指導員 穴戸 克己

【第三者委員】

弁護士 千葉 和彦さん

介護保険運営協議会委員 佐藤 豊治さん

行政相談員 高橋 節子さん

【苦情解決責任者】

施設長 小野 智義

居介

あつかし荘指定
居宅介護支援事業所



佐藤奈穂子
主任介護支援専門員

みなさん、こんにちは。
あつかし荘指定居宅介護支援事業所の佐藤です。

居宅介護支援事業所は主に、
○介護保険の申請手続きの代行
○ケアプランの作成
○各種サービスの情報提供などを行うところです。

ご自宅でいろいろなサービスを利用しながら安心して生活できるようお手伝いしますので、介護に関する相談、困りごと等ございましたらお気軽にお電話ください。ご相談は無料です。

あつかし荘指定居宅介護支援事業所
電話 024-585-5610

あつかし荘ホームページ開設しました

●社会福祉法人信達福祉会（あつかし荘・梁川ホーム・川俣ホーム）では、このほどホームページを開設いたしました。施設やサービスの内容を細かくご覧になることができます。また、メールでのお問合せも歓迎しています。お気軽にお問合せください。

ホームページ <http://www.shintatsu.jp>
メールアドレス atsukashi@shintatsu.jp

編集後記

◆あつかし荘の裏に小さな小屋が出現！3ページでもお伝えした東屋です。古希を迎える皆さんの労作に頭が下がります。
◆夏祭り前、実行委員があつかし荘周辺のお宅約100軒に夏祭りのチラシとあつかし荘だよりをお配りしました。地域の皆様方との交流のきっかけとなれば幸いです。

◆3ヶ月の情報をわずか4ページでお知らせするのは至難の業！次号は8ページを予定しています。ご期待を！なお、ホームページもあわせてご覧ください。

2006年9月15日号

あつかし
荘だより

編集●あつかし荘広報班
（穴戸克己、高橋睦子、松浦由巳子、菊池明夫、嶋原 誠）
発行●社会福祉法人信達福祉会 特別養護老人ホームあつかし荘
〒969-1642 福島県伊達郡桑折町大字北半田字一本木前5-2
TEL024-585-5610 FAX024-585-5611
URL <http://www.shintatsu.jp> E-mail: atsukashi@shintatsu.jp